

わたし  
**明石**が  
お礼、  
してあげ  
ますね！

DOJIN

**R18**

成人向け

18歳未満の  
購入・閲覧禁止



んっ...♡

はっ...♡

...どうしたんだ  
明石...?

あっ...♡

どういう  
風の吹き回し  
だい...?

急に  
お礼だ  
なんて...





夏に  
欲しがってた  
水着のことか？

確かにアレは  
だいたい悩んだ  
けどな…

あんっ♡

びんぎょ

びんぎょ

確かに…  
そっちも嬉しかった  
ですけど…

そっちじゃ  
なくて…



いいですか  
明石さん！



この前…  
大淀に  
言われた  
んです…



その指輪は  
練度の限界を  
引き上げる  
以外にも、

提督にとって  
どれほど大切な  
艦娘であるかを

示している  
証なんです！

明石  
だけに…？

は？



ウチでは現在、  
上層部から  
支給された物  
以外には、

それを持って  
いる艦娘は、  
アナタしか  
いません！



それが

どういう

意味を  
もつのか

わかって  
ますか!?  
明石さん！

戦艦や空母なら  
まだしも、

普通は戦いに  
参加しない、工作艦の  
練度を上げる  
メリツトは  
ありません！

せいぜい50  
までです

ましてや  
ケツコンなんて  
どれだけの労力が  
費やされるか！

わっ！私だって  
まさか指輪を  
貰えるなんて

思ってた  
なかった  
もん……！

確かに、毎日  
演習に参加  
してて

練度も  
相当上がってたし、  
もらえたら良いなとは  
思ってたけど……

明石さん……

結局は  
つまりね、



ウチの提督にとつて明石は、

どんなに苦勞しても指輪を渡したい位に大切な艦娘だつてコトです！



そうじゃなきや、もつと実戦的な艦娘に渡すハズでしよう？

あっ…

がぁぁっ

改めて言われるとそうかも…



う…  
うん…

お礼かあ…



そんなひねくれ者な提督に、

こちらで一つお礼でもしたら如何です？

私：  
そこまで提督に  
大切にされて  
るって…

ん  
ん

ん  
ん

知りませ  
ん…♡

なるほど…

大淀の言ってる  
ことは、だいたい  
合ってる

だがしかし、  
ホントの  
ところは

もっと  
シンプルな  
答えだ

シンプル……？

前にも  
言っただけ  
知れないかも

色々と  
頑張っ  
てく  
れて  
いる、

俺は明石を  
気に入っている

ひとつは、

縁の下の  
力持ち  
だからな……

——と……

イクぞ  
明石っ……！



もう…  
提督♡

ペロッ…

早い  
ですよオ♡

これから  
なんです  
から…♡

私の  
お礼は…



今日は  
提督の…

うむ…

それと  
さっきの  
ハナシの  
続きだが…

もう一つの  
答え、  
それはな

俺と  
明石の…

好きなように  
して下さい…♡

身体  
の  
相性  
が…



バツグンに  
良いって  
コトだっ……!

一気に  
奥まで  
挿れられて……

ホ……ホント  
そうですね……♡

わっ……  
わたしも……♡

イツちやい  
そうですね……♡

ん……?  
まだ早いぞ  
明石……



あっ♡

お礼を  
してくれるん  
だろ？

一晩中  
好きにさせて  
もらおうよっ……!



幸い  
工場なら……

ふあっ♡

夜中に明かりが  
点いても  
怪しまれないし……

工場好きの  
夕張も、今日は  
長時間遠征に  
行ってるし……



こころが  
こころが  
こころが

その  
ためにっ…♡

そっ…♡  
それよりっ♡

工  
廠へ  
呼ん  
だの  
で  
す  
か  
ら  
の  
…♡

しゅわ  
ん  
ん  
ん

しゅわ  
ん  
ん

しゅわ  
ん  
ん

しゅわ  
ん  
ん

しゅわ  
ん  
ん

おっ♡  
おっばい♡  
よわいのっ♡

てーとくっ  
知って  
ますよねえっ♡

ああ、

もちろん  
だっ！

イクイクっ♡

ちよっ……！  
急に締め付け  
られたらっ……！

イッチャっっっ♡

ダメっ♡



はっ...♡  
ちくび...♡  
せむの...♡

反則  
です...♡

たまご  
たまご  
たまご

3







どつちが  
お礼してるか  
分かりません  
からね…♡

このまま  
やられる  
だけじゃ…



じゃあ…  
次は私から  
挿れますよ…♡



あはっ...♡

てっ...  
てーとく...  
だっ...♡

またまだ  
おつきい...♡

すぐに  
おちんぼのっ...♡

改修が必要  
なんじや...

ないですか...♡



また  
いつでも  
いんですよ♡

ホラホラ♡

それじゃあ…

そうだな…

お互いの  
弱いところを...

改修  
しようじゃ  
ないかっ...!

ん...♡

ん...♡  
ん...♡  
ん...♡

まっ...♡  
まけま  
せんよっ...♡



…っというか  
提督っ…♡

そろそろっ♡  
おちんぼ限界じゃ  
ないですかっ…？

そうだなっ…

ふっ♡

またっ…  
イキそうだったっ…！

ズ

びしょびしょ







シアワセ...

おこめおめ  
らっはらっ...♡

ナカに...♡

一杯...♡

グッポッ  
グッポッ



—今後、  
ウチの鎮守府は  
まだまだ  
大きくなる

今はまだ  
二人だけだが...



指輪はもつと  
必要になる

強力な  
深海棲艦と  
戦う為にな...

だから  
こそ、

まず明石に  
最初に指輪を  
買うことに  
したんだ

一番大切な  
艦娘に

嬉しいです...  
でも、ひとつだけ  
残念なことが  
あるんですよ

残念な  
こと?

あの指輪、  
私が貰うと

次から  
アイテムで  
買えなくなるん  
ですよ

えっ!!  
ウソっ!!

ウソです。

明石って、  
指輪だけじゃなく  
竹箱もガッツリ  
改造しこもう。



明石と大淀が呑んでいるシーンで使おうと思った会話案。

大淀「——ところで明石、今の練度は幾つでしたっけ」  
 明石「ん？ この前の演習でまたレベルが上がったから119かな」  
 大淀「もうすっかりウチではトップクラスですね」 ←ちなみにトップは能代の124  
 明石「そうだけとさー、戦艦や空母ならともかく、工作艦の私が練度上がってもしようがないっていうか ホラ、私って見た目より燃料使っちゃうし？  
 まあ、修理に建造にアイテムに、私がいなきゃ鎮守府は回らないんだから、当然かな〜って思うんだけどねえ〜」  
 大淀「…明石 アナタ、少々浮かれすぎじゃない…？」  
 明石「えっ」  
 大淀「アナタを、工作艦をここまでの練度に上げるのに、どれだけ提督が苦勞したか分かってますか？ 毎日演習に参加させ、それも練度が入る編成で、さらに勝てることが必須ですし、出撃も極力被害の出ない一部の海域に絞って行い、しかも1日に1度か2度だけに絞って出撃させるので練度はどうしても上がりにくいですし……」  
 明石(そういえば大淀って、呑み過ぎるとクチのリミット外れるんだっけ…)  
 大淀「私の統計ではですね！ アナタが出撃や演習で費やした時間と労力を他の艦娘に使っていたとしたら、一航戦やハイバースは、もうケツコンしているはずですし、そうするべきなのに…！」  
 明石「でっ…でもウチのあの娘たちは、まだレベル98止まりじゃ…」  
 大淀「意識的に提督がコントロールしてるの！ 分からないですか!? 私達艦娘は、練度が99になるとリミットがかかって、解除するにはケツコン指輪を提督から頂くしか無いでしょ？ だからウチの提督は練度が97辺りになると、その娘の出撃を極力減らして経験値が増えないようコントロールしてるの。他の鎮守府では何人もの艦娘が指輪を手に入れていると言うのに、ウチでは能代とアナタだけ」  
 明石「えっ…どうして…？」  
 大淀「もちろん、ウチの提督がケチっていうのもありますが…一番の理由は、明石。単純にアナタとケツコンカッコカリしたかったから、だそうですよ！」  
 明石「えっ……ええっ……!?!」  
 大淀「そうじゃなきゃ、入渠するたびに背中を流すなんてしませんよ？」  
 明石「えっ…アレって他の娘にもしてるんじゃないの…？」  
 大淀「私の知ってる限り、提督が直々に背中を流すのは、明石だけのようですよ？ それだけアナタは提督に目をつけてもらっているってコトなの。ケツコン指輪をもらってそこそこ経ちますし、ここらで一つ提督になにかお礼をしても良いのではないですか？」  
 明石(そっかあ…お礼かあ…)

大淀は色々な銘柄をガッツリ呑むイメージ。(ホトはラッパ呑みしたいが、鷹翔さんには怒られるのでラッパにやわてい) 明石と呑むとグダグダまく、てええ。



明石はジョッキで頼み4ビ4ビと呑むイメージ。基本、大淀がしがりの2" 直ま手にまわることが多そう。

こんなカンジで長々と2人のシーンを入れた予定でしたがエロ本なのに使えないシーンをグダグダ入れたのもアしかなと思っホッソに。

## あとがき

明石本をまた出そうと思ったら、ちょうど明石に夏限定ボイスや水着姿が登場したおかげでモチベーションを維持出来ました。運営様ありがとうございます。

どうも。キタガワジマのヨヒノリと申します。

去年の夏と同じく、工作艦・明石の本となりました。当初は春イベで登場したイタリア艦の本も考えていたのですが、それは恐らく有名な作家さん御大が一杯描いてくださるだろうということで、去年の冬から出したいと思っていた明石本を再び出すこととなりました。

前回は開幕全裸な展開だったので、今回は着衣からの修理(意味深)に。まあでも結局は工廠内で脱ぐんですけどねー。明石はあの特徴的なスカートもそうですが、靴的なニーソも良いと思うのですよ。夕張が長時間遠征に出かけている間(4スロなのでドラム缶積みやすいよね)、工廠で二人っきりでお互いの弱点を修理したい。もちろん性的な意味で。

今回は明石がケッコンカッコカリしたお礼というテーマでしたが、今のところウチの明石はレベル119までいきました。ほぼ演習のみです。中には、既に改造前と揃えてレベル150まで上げきっている猛者もいらっしゃるそうなので流石にそこまでの余裕は無いものの、上げれるだけレベルを上げていきたいところです。

ところで、レベル100を超えたら改修工廠の成功率爆上げみたいな特典はまだですか？そうすれば、みんなもっと明石のレベルを上げると思うんだけどなあ。

そんな感じで今回は時間的にギリギリなので、短いですがこの辺で。今年の夏イベも色々楽しみですが、去年みたいにタイムオーバーになる前に、時間のあるうちに攻略したいところです。(去年は序盤が酷く大変だったってのもあるのですが;)

最後までお読み頂き、ありがとうございます！





2015

キタカラビジマ